

第13節 広域連携等について

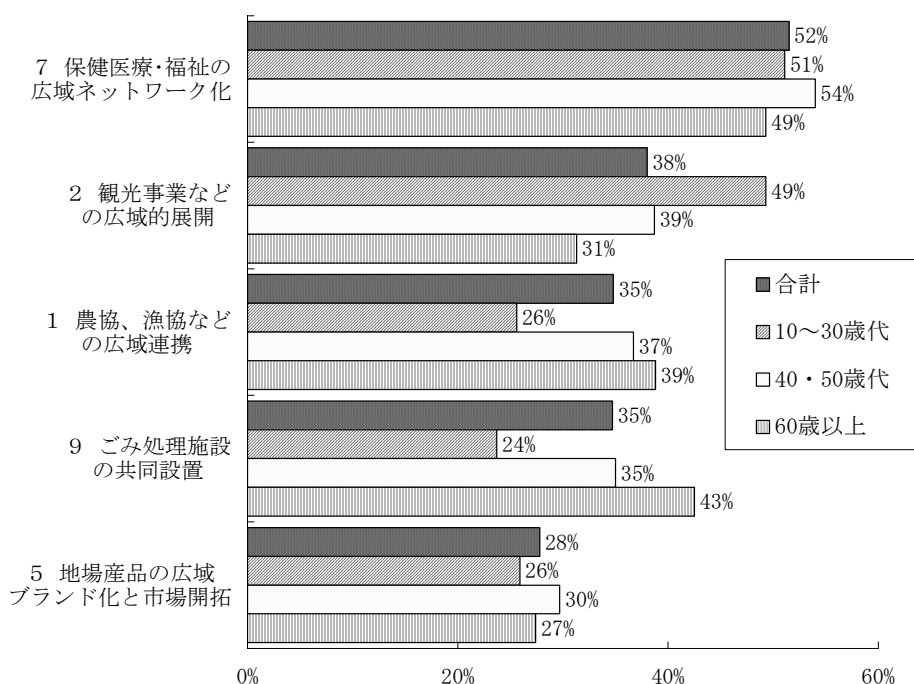
問39 これから紋別市と近隣町村が、協力連携していくべきことは、どのようなことだとお考えですか。【〇は3つまで】

	問2 年齢（再区分）						合計	
	10～30歳代		40・50歳代		60歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 農協、漁協などの広域連携	69	25.6%	151	36.7%	170	38.8%	399	34.8%
2 観光事業などの広域的展開	133	49.3%	159	38.7%	137	31.3%	436	38.0%
3 芸術・文化・スポーツなどの広域的開催	46	17.0%	42	10.2%	35	8.0%	126	11.0%
4 高速交通網を活用した広域交流事業の展開	49	18.1%	58	14.1%	62	14.2%	175	15.3%
5 地場産品の広域ブランド化と市場開拓	70	25.9%	122	29.7%	120	27.4%	319	27.8%
6 市町村間の人的交流や共通する事務の共同実施	32	11.9%	68	16.5%	74	16.9%	178	15.5%
7 保健医療・福祉の広域ネットワーク化	138	51.1%	222	54.0%	216	49.3%	591	51.5%
8 地域防災・消防の広域ネットワーク化	24	8.9%	26	6.3%	24	5.5%	76	6.6%
9 ごみ処理施設の共同設置	64	23.7%	144	35.0%	186	42.5%	398	34.7%
10 その他	5	1.9%	7	1.7%	1	0.2%	14	1.2%
無回答	13	4.8%	20	4.9%	48	11.0%	87	7.6%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

「近隣町村と協力連携していくべきこと」については、回答者全体では、「保健医療・福祉の広域ネットワーク化」が52%と最も割合が高く、次いで「観光事業などの広域的展開」が38%、「農協、漁協などの広域連携」が35%、「ごみ処理施設の共同設置」が35%などとなっています。

年齢区分別では、「観光事業などの広域的展開」が若い層ほど割合が高く、「農協、漁協などの広域連携」や「ごみ処理施設の共同設置」では逆に低くなっています。

近隣町村と協力連携していくべきこと（割合が高い順に第5位まで掲載）



問 40 広域行政として連携する上で、望ましい地理的範囲はどれになるとお考えですか。

【〇は1つだけ】

	問2 年齢（再区分）						合計	
	10～30歳代		40・50歳代		60歳以上			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 網走支庁管内	67	24.8%	45	10.9%	34	7.8%	147	12.8%
2 遠紋圏	86	31.9%	134	32.6%	123	28.1%	350	30.5%
3 西紋5市町村	95	35.2%	204	49.6%	202	46.1%	513	44.7%
4 その他	8	3.0%	7	1.7%	3	0.7%	18	1.6%
無回答	14	5.2%	21	5.1%	76	17.4%	119	10.4%
合計	270	100.0%	411	100.0%	438	100.0%	1,147	100.0%

「広域行政として連携する上で、望ましい地理的範囲」については、回答者全体では、「西紋5市町村」が45%で割合が最も高く、次いで「遠紋圏」が31%、「網走支庁管内」が13%などとなっています。この順位は変わりませんが、若い層では、より広範囲の連携について、割合が高い傾向がみられます。

広域行政として連携する上で、望ましい地理的範囲

